

会社設立から実務まで

税理士・会計士



PROFILE 斉藤 信(さいとう まこと)1975年埼玉県所沢市生まれ。1997年立正大学法学部卒業。(株)本郷会計事務所(現「辻・本郷税理士法人」)を経て、2000年税理士資格取得。青木恵一税理士事務所(現「税理士法人青木会計」)に勤めた後、2004年税理士登録。斉藤信税理士事務所を開業する。現在は、開業したばかりで自らお客様のところを駆け回る日々である。
HP:<http://www.saitou-kaikai.com>
E-mail:tax@saitou-kaikai.com



先生がいつも携帯している本。

自分が何をしたいのかを、
しっかり考えて、
計画を立てることが
大切です。
—— 斉藤



起業する学生にメッセージをください。

Q 斉藤：起業することは、とてもいいことだと思います。ただ、就職するのがイヤだから、起業するというのは違うと思うんですよ。自分が何をしたいのかを、しっかり考えて、計画を立てることが大切です。

今は、資本金が1円からでも株式会社を作れますよね。そういう意味では、会社を作るのは簡単なんです。でも、会社をやめるのは難しいんです。会社をやめるときには、公告といって、一般的に告知しないといけない。その費用に最低でも8万円近くかかります。会社をやめるのは、作るときよりも、お金的にも精神的にも3倍くらい大変だと思います。

高橋：確かに、無理に会社を作ることは勧められないですね。税金が最低でも年間7万円かかりますし、2年に1回、変更登記をしないといけない。当然、それにもお金がかかる。維持するだけでも、けっこうお金がかかるんですよ。それに、会社をやめるのも大変です。

それなら、無理に起業するのではなく、個人事業主としてやっていくのも一つの手だと思います。税金面で、個人事業主は優遇されますし、有利なことも多いですよ。

斉藤：最初は、個人事業主でやって、規模が大きくなってきたら、会社にしたらいいいんですよ。個人の利益(＝売上－費用)が1000万円ぐらいいを超えたら、税金的にも、会社にしたほうが有利になります。だから逆に、年間の利益が1000万円を超えないようであるなら、個人事業主のほうがいいでしょうね。はじめから、無理して会社を作って起業しなくてもいいと思います。

高橋：あとは、起業するなら、税理士・会計士をうまく利用してほしい。ただ、税金や会計のことを丸投げしてしまうのは、やめたほうがいいと思います。やはり、最低限の会計知識はあったほうがいい。そうじゃないと、会社も大きくならないですよ。だから、税理士・会計士をうまく利用しながら、最後の手綱は自分が握っているというのが理想的ですね。

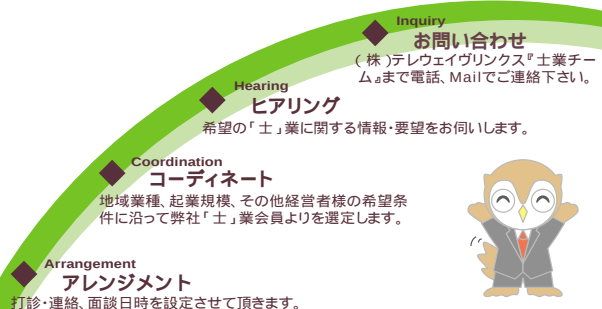
テレウェイ
リンクスの

ビジネスコーディネートサービス

株式会社テレウェイリンクスでは、貴社に最適な顧問税理士・会計士・その他社会保険労務士・弁護士・司法書士との出会いを、ヒアリングから面談までを無料でコーディネートしております。

問い合わせはこちら

株式会社テレウェイリンクス ソリューション事業部 土業チーム
<http://www.telewave.co.jp/business/samurai/>
E-Mail: samurai@telewavelinks.co.jp
0120-618-999 FAX:03-5326-4620



に聞いてみよう! vol.2



税理士・会計士をうまく利用しながら、最後の手網は自分が握っているというのが理想的ですね。
— 高橋

PROFILE 高橋 聡(たかはし さとし)1969年群馬県生まれ。1993年東北大学法学部卒業。太田昭監査法人(現:新日本監査法人)にて監査業務・公開支援業務に従事。2001年公認会計士開業登録。その後、監査法人トーマツにて法定監査業務に従事。2003年川崎市高津区にて独立開業。2004年株式会社JKコンサルティング設立。代表取締役就任する。2005年税理士登録。現在はドリームゲートでも起業・独立のアドバイザー(http://www.dreamgate.gr.jp/solution/senmonka_profile.php?A=108)を務めている。URL:<http://www.takahashi-lao.com> E-mail:info@takahashi-lao.com

先生がいつも携帯している本。



そもそも、税理士や会計士は、どのような仕事をしているのですか？

斉藤：簡単に言うと、会社や個人事業主の税金計算や納税のサポートです。私たち国民は、義務としてさまざまな税金を納めています。そのうちの所得税や法人税等の、税務に関して申告する確定申告の代行業務。税務書類の作成や税務相談などを行っています。

税金計算の基となる税法は、いろんな法律があったり、たびたび法律の改正があったりして、すごく複雑。どうすれば有利かもわかりにくい。だから、専門家の私たち税理士が、サポートをしているんです。

その他にも、会計帳簿の代行など会計業務も行っています。なので、企業の経営についてアドバイスをしたりもしています。

高橋：確かに、資格を取って独立してしまえば、会計士と

税理士の業務には、大きな違いはほとんどありません。より「会計業務が専門的」なのか、「税理業務が専門的」なのかの違いと言ってもいいと思います。

実際、私も起業から株式公開まで、企業を全面的にサポートしています。いわゆる起業のための「ワンストップサービス」を行っているんです。

斉藤：もちろん資格がないと代行できない業務はあります。けれど、簡単な業務ならできますので、お客さまの相談に乗って、いっしょに業務を行っています。そういう意味で、経営業務の全般をサポートしていると言えますね。

高橋：だから、起業を考えている人は、会計士や税理士に気軽に相談にきてください。起業や経営に関するいろいろなアドバイスができると思います。

POINT!

税理士・会計士ともに、実務的に大きな違いはない。両方とも、経営業務全般のサポートをしてくれる。起業を考えている人は、税理士・会計士に相談してみよう！



いい税理士や会計士を探すコツってありますか？



高橋：会って見たときの直感を大事にした方がいいと思います。意外とそういう直感で当たりますよ。あとは、どれだけ自分のことに親身になってくれるかが重要ですね。親身になってくれない人は避けたほうがいいかもしれません。

それ以外には、専門用語ばかりを使って、何を言っているのかわからない人も避けたほうがいい。税金に限らず商法や民法など法律にも詳しく、幅広くわかりやすいアドバイスをくれる人がいいと思います。

斉藤：やはり、会って話をして感覚が合う人がいいと思います。そういう意味で年代的に近い人がいいかもしれません。自分が20代で、50、60歳の先生と話をするのは、

話題が合わない可能性は高いですね。

あとは、大きな事務所で、下の担当者にしか会えないようなところもやめたほうがいいと思います。担当者がコロコロ変わったりする場合もあり、やりにくいですね。普段から直接先生に相談できる事務所がおすすめです。

高橋：あとは、やたらと保険を押し付けてくる先生はやめたほうがいい。特定の会計ソフトしか使えないという先生もやめたほうがいいかもしれません。

斉藤：ITに対応している先生というのは大切ですね。メールができるというのは必須だと思います。税理士というのはサービス業ですし、お客さまの要望にすぐに応えられることはとても重要です。

POINT!

自分と身の丈のあった先生を選ぶのがいい!! 税理士・会計士の仕事・料金プラン等を契約前に確認しよう。